

平成30年5月30日

松阪市議会
議長 山本 芳敬 様

報告者 松岡 恒雄

研修報告書

標記の件について、下記のとおり研修会に参加致しましたのでその内容等を報告します。

記

1. 日程 平成30年5月16日(水)～5月17日(木)
2. 研修会 よくわかる市町村財政分析基礎講座
3. 会場 東京都立川市 たましん RISURU ホール
4. 参加者 公明党:松岡 恒雄
5. 講師 大和田 一紘 NPO 法人 多摩住民自治研究所理事
6. 目的 議員となり5回目の予算議会を終え、過去最大となった本年度のチャレンジ予算。改めて松阪市の財政について学び、9月議会の参考とするため。
7. 内容

◇第1日目:5月16日(水)

第1講 13:00～14:00

決算情報をいかに予算審議と連動させるかー誰でもできる財政分析

9月定例議会は決算情報を活用し、新年度予算に連動した質疑を行うことが大事である。9月議会の成果が10月以降の各自治体発行の広報に反映される。改めて決算情報を学び、その活かし方に言及していく。決算カード中心の財政情報開示を最初の段階とすると、類似団体比較カード、地方交付税算定台帳、財政状況資料集の開示を中心とした新しい段階に入っている。財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つが代表的な財政指標として学ぶ。

第2講 14:15～15:45

市町村のふところはー歳入の仕組みを考える

市町村の歳入の仕組みを学ぶ意味を考え、分権にふさわしい歳入の仕組みのあり方を示す。

第3講 16:00～18:00

議会・市民から見た税金の使われ方ー歳出の仕組みを考える

歳出の分析を通して首長の政治姿勢や政策を学び、新しい住民ニーズにあった歳出のあり方、ハコもの行政から安心・安全、環境、教育、福祉型への転換を考える。

第4講 18:15～19:30

様々な「財政指標」の見方・読み方・使い方

専門的な財政情報から松阪市の財政の数字の読み方を学び、議会での活かし方を考える。

◇第2日目:5月17日(木)

第5講 9:15～12:00

類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ

類似した条件の自治体の財政を比較することで、松阪市の自治体運営の特徴を捉えることができ、類似団体比較カードの使い方を知り、類似カードの応用しまとめた財政状況資料集を手がかりに、自治体財政運営を読み解く力を養う。

第6講 13:00～15:00

地方交付税制度の基礎の基礎～臨時財政対策債にも触れて

普通交付税、基準財政需要額、基準財政収入額、財政力指数を一体的にとらえることが地方交付税制度を難しくしている。実質的な交付税である臨時財政対策債が同時に地方債であることを学ぶ。

◇所感

今回の財政分析基礎講座に参加させていただき、決算カードや財政状況資料集を活用した大和田先生の分析表への転記する演習を通じ、松阪市の財政が類似団体と比較しても健全であるということが理解できた。今後、過去10年程度の決算カード、類似団体比較カード、財政状況資料集を経年的に分析・活用し、限られた財源の有効的な使い方について議員として考えていきたい。